

スケートセンターアイスマット点検業務仕様書（敷設撤去含む。）

1 期間

撤去期間（5月16日～5月31日）

敷設及び点検整備期間（9月1日～9月30日）

2 対象物の名称	アイスマット	1 m×3 0 m	6 0 巻
及び規格	センターピットプレート	250W×1, 000L	3 0 組
	巻取りドラム	1, 000×1, 100 φ	3 0 巻

3 内容

(1) 敷設時点検整備業務

- ① アイスマット敷設前にアイスマットとサブヘッダーとの接続部及びその付近にひび割れや亀裂がないか点検する。
- ② 点検作業中にアイスマットの極端な折り曲げや無理な力での引き延ばしなどを与えず傷を付けないようにする。
- ③ ひび割れや亀裂を発見した場合は、速やかにその部分を切断し、用意したアイスマット（ITTアイスマット 規格：ツインチューブ式 内径7.5mm 外径9.0mm 33m×30本及び接続金具100個を用意すること）と交換をする。
- ④ 交換部分の接続部品及びリングは十分に差し込み、ぐらつきがないか点検をする。
- ⑤ アイスマット敷設及びブライン液通水後、アイスマットの亀裂等により漏水を発見した場合、直ちにブライン液を回収し、上記と同じ方法で速やかに交換する。
交換に必要なブライン液は受託者が準備する。

(2) 敷設業務

- ① リンク部、周辺部の清掃を実施し、特に小石や金属片等には注意する。
- ② リンクフェンスとアイスマットの接続部分に隙間が生じないことを確認し、その部分をビス止めにより補強する。
- ③ 下地に隙間やひび割れがないかを点検する。
- ④ センターピットの取り外しは、その関連するスパンのみを行い、全部を一度に撤去しないようにする。（安全作業上重要なことなので特段の注意が必要である）
- ⑤ アイスマットの運搬、収納保管中に極端な折り曲げや剪断の応力を与えて傷をつけることがないようにする。
- ⑥ 作業中は、アイスマットとドラムを一体化させマット末端のみを持って引き回さないようにする。
- ⑦ アイスマットは、床面と水平に敷設し、リンク凹凸及び氷の硬度差が少なくなるようにする。特に、ピット開口部より出た、センターピットプレート近辺の浮き上がりに注意する。
- ⑧ サブヘッダーとアイスマットの接続リングは十分に差し込み脱漏がない

か点検する。

- ⑨ アイスマット内のブライン液の流れ方向を取り違えないようにする。
- ⑩ スペーサーはアイスマットに直角に取り付け、一直線になるようにする。
- ⑪ センターピットプレートの設置にあたっては、アイスマットに傷をつけないようにする。

(3) 撤去業務

- ① リンク内の氷を3日以内で解凍する。
解凍可能なブライン液温暖用ボイラー（消音・灯油タイプ）を用意設置する。
- ② ブライン循環ポンプを利用してブライン液を回収する。
- ③ 敷設の逆行程にて行う。